

平成25年度 第4回常任理事会

議事録作成：平成25年10月27日（事務長）村中優

<開催日時> 平成25年10月22日（火） 18時30分～20時30分

<開催場所> 会議室

<出席者> 14名

協会役員 : 齋藤会長、村田副会長、大橋副会長、下山理事長、
村中（ゆ）副理事長、村中（ま）事務長、吉村副事務長、宮崎会計

明電舎ソフトテニス部 : 世古理事、

沼津グリーンテニスクラブ : 鷺巣理事、

さわやかテニスクラブ : 安部理事、

S S T C : 窪田代表（鶴淵理事代理）

M S T C : 佐藤理事

千本クラブ : 高嶋理事

<欠席理事> 5名

高専クラブ : 中村理事、

アクトS T C : 朝倉（や）理事

高体連 : 竹内理事

中体連 : 高橋理事

小学生部会 : 山本理事

<配布資料>

1. 第67回沼津市スポーツ祭（案）
2. U14ステップ1
3. スポーツフェスティバル
4. 沼津ミックスソフトテニス大会
5. NPO法人沼津市体育協会の依頼事項

<議事>

議長：下山理事長 書記：村中事務長

1. 第67回沼津市スポーツ祭（案）：報告者 村中事務長

参加者確認と組合せ案を説明

- ① 高校男子は39ペア、女子は20ペアのエントリーがあり、6面使用する。一般は4面で運営する。
- ② 開会式は、高校の部と一般の部を合同で行う。
- ③ エントリー数の関係で、成年男子と壮年A男子はまとめて、成年男子とする。一般女子と成年女子と壮年A女子はまとめて、一般女子とする。
- ④ 一般男子と一般女子は決勝リーグとする。

- ⑤ 昨年度優勝の佐藤・佐藤ペアは、美桜クラブであった。一般男子Aブロック①佐藤・宮崎の佐藤選手と誤っていたので組合せを見直す。
- ⑥ 要望事項
 - ・参加エリアを拡大して、他のクラブがもっとエントリーできるようにアピールしてもらいたい。(世古理事)
 - スポーツ祭は“原則として、市内に居住、勤務、在学しているものとします。”となっているが来年度の課題とする。(村中優)

2. U14ステップ1：報告者 村中事務長

案内と当日プログラムを説明

- ① 基本的に昨年度と同様のメニューで実施する。
- ② 中体連から高橋先生（日程合わず）に代わって佐野先生（金岡中）に役員をお願いする。
- ③ 今年は明電舎ソフトテニス部がコーチとして応援して頂ける。若いプレーヤーに子供たちの相手をお願いする。10月28日までにコーチを選出して事務局に連絡して頂く。

3. スポーツフェスティバル：報告者 村中事務長

今年は富士が幹事協会である。沼津は1チームエントリー。

- ① 選手は選出して頂いた。確認を一般男子と成年男子は世古理事に、壮年男子は下山理事長に、女子は村中副理事長をお願いする。成年男子の稲葉選手は、村中が確認する。

4. 沼津ミックスソフトテニス大会：報告者 村中事務長

大会要項と協賛メーカーの状況を説明。

- ① 株ゴーセンは協賛条件が未定であるので、村中がコンタクトする。
- ② 協会ホームページにもお知らせをアップした。問合せを頂いたら、要項を送付するようにしている。エントリーが増えるように宣伝をお願いする。

5. NPO法人沼津市体育協会の依頼事項：報告者 村中事務長

(1) 体協ホームページ開設について

- ① 10月15日が締め切りであったので、事務局から沼津ソフトテニス協会の紹介を200字以内で作成して提出した。協会の承認を得ていなかったため紹介した。

(2) 寄稿のお願い

- ① ソフトテニスオリンピック種目ではないので、ソフトテニス協会からの寄稿は行わないことにする。

(3) 第17号体協機関紙の発行に寄せて

- ① 体協機関紙には全国大会に出場し活躍した選手のページがあり、氏名・団体名、大会名、種目、種別が一覧表になっている。ここに、団体は明電舎ソフトテニス部の日本実業団リーグと全日本実業団選手権大会を、個人は天皇賜杯出場の神田・望月ペア及びハイスクールジャパンカップ出場の加藤学園望月・廣瀬ペアを体協に連絡する。

(4) 平成 25 年度 N P O 法人沼津市体育協会優秀選手賞個人・団体ならびに優秀指導者賞候補者推薦調書について

- ① ハイスクールジャパンカップベスト 8 入りした、加藤学園の望月・廣瀬ペアを推薦する。
- ② 東日本選手権で準優勝した、明電舎ソフトテニス部の原選手を推薦する。

(5) 賛助会員の募集について

- ① 団体の賛助会員は明電システム製造(株)に打診する。(下山理事長)
- ② 個人の賛助会員は希望者を募る。

6. その他

- ① 10 月 27 日に愛鷹運動公園で開催される、第 33 回東部地区中学校対抗戦(ヨネックス杯)は、協会長の挨拶と本部の手伝いを要請されている。齋藤会長が挨拶、村中副理事長と村中事務長が本部の手伝いを担当する。
- ② さわやかクラブの某氏から、自分たちレベル(BC級)の大会をもっと多く開催してほしいという要望を受けたので連絡する。(世古理事)

→BC級を開催しても、参加ペアが少ない状況である。また、予選リーグの後に、敗者復活戦で2位、3位リーグを開催している大会もある。(大橋副会長)

以上